



第18回定時総会・平成30年度第1回 G 空間スキルアップセミナー 【開催報告】

- 【名称】 関東中部 G 空間情報技術研究会
第 18 回定時総会・平成 30 年度第 1 回 G 空間スキルアップセミナー
- 【主催】 NPO 法人全国 G 空間情報技術研究会 関東中部 G 空間情報技術研究会
- 【日付】 平成 30 年 4 月 27 日（金）
- 【会場】 T K P 東京駅前カンファレンスセンター カンファレンスルーム 9 A
- 【参加数】 5 3 名

第18回定時総会

13 : 00～13 : 40

- 1 開会の辞 （佐藤理事）
- 2 会長挨拶 （増澤会長）
- 3 議長選出、議事録署名人の指名
東洋測量設計株式会社 戸部社長
黒田整地開発株式会社 黒田社長



- 4 議事
 - ・ 第 1 号議案 平成 2 9 年度事業報告承認の件 →可決
 - ・ 第 2 号議案 平成 2 9 年度決算報告承認の件 →可決
監査報告（森田監事）
 - ・ 第 3 号議案 役員改選の件 →可決

※増澤会長以下全理事の留任（写真）

- ・ 第 4 号議案 平成 3 0 年度事業計画（案）承認の件 →可決
 - ・ 第 5 号議案 平成 3 0 年度予算（案）承認の件 →可決
 - ・ 第 6 号議案 会則改正（案）承認の件 →可決
- 5 閉会の辞 （松山理事）

平成30年度第1回G空間スキルアップセミナー

【ポイント】①測量CPD3ポイント ②建コンCPD3単位 ③GIS学会教育3時間 付与予定

13:40~17:00

1 「平成30年度活動方針の発表」 関東中部G空間情報技術研究会 会長 増澤延男

【理念・運営ビジョン】

「現在および将来、国民が安心して豊かな生活を営むことができる
地理空間情報を高度に利用した経済社会(=G空間社会)を実現します。」

- ◆ 「産学官民」連携によるGIS産業の発展、G空間社会の実現への貢献
- ◆ GIS活用促進による地域活性化への貢献
- ◆ GIS関連技術の研究、知識の習得による新たな空間情報技術者の育成
- ◆ 自治体の住民サービス向上と業務効率化への貢献
- ◆ 測量業界の異分野への事業領域拡大
- ◆ 会員企業の経営安定化

【平成30年度 活動方針・活動課題】

活動方針 『創造的・実践的な技術者育成』
活動課題 『GISスキルと新技術の融合によるオープンデータ活用術』

研究・開発

- オープンデータの活用方法の研究
- i-Construction、CIM、衛星測位、シームレス測位等の動向把握
- 測量の最新技術（航空レーザー測量、写真測量、3Dレーザースキャナ等）の活用方法の研究
- 取得した大量データ処理の研究

社会貢献活動

- 基盤地図情報のスパイラルアップによる国と地方自治体への貢献
- 学校教育への社会貢献
- GIS産業の促進、地方自治体や地域への貢献と会員企業の受注確保、雇用促進

国土交通省は、調査・測量から設計・施工・維持管理までのあらゆるプロセスでICT等を活用して建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」を推進しておりますが、様々な分野の産学官が連携して、IoT・人工知能（AI）などの革新的な技術の現場導入や、3次元データの活用などを進めることで、生産性が高く魅力的な新しい建設現場を創出することを目的として、i-Construction推進コンソーシアムを設立しました。ICT技術の発展に伴い、様々な分野で活用していくための「創造性」の重要性も高まっており、「技術者の持つ創造力」が革新的な新しい技術（モノ）を生み出す創造性となります。



2 基調講演「G空間情報時代の歩みとこれから」
NPO 法人全国 G 空間情報技術研究会 碓井理事長

NPO 全国の碓井理事長より、ご講演を賜りました。

1. GIS で変化する国の地図作成と i-construction
2. ガバメント 2.0 と電子国土 Web 政策 (2011)
Society5.0 と地理院地図／基盤地図情報 (2018)
3. 震災前防災と基盤地図情報の整備 (2011)
東南海地震・首都直下型地震震災前防災と
基盤地図情報スパイラルアップ (2018)

研究会に求められているのは、地域での技術者育成、災害対策としての地理院地図の整備、大縮尺データの整備であるご教授頂きました。



3 来賓講演「国土地理院の地理空間情報活用推進施策」
国土地理院 関東地方測量部長 中島秀敏様

今年も関東地方測量部長の中島秀敏様に、大変ご多忙の中駆けつけて頂き、ご講演を賜りました。

「測る」「描く」「守る」という観点から地理空間情報活用推進施策の最新情報をご教授頂きました。

また、実際に発生した災害対応についての事例紹介や新施策について、とても分かり易くまとめて頂き、参加者一同、感謝の拍手を送らせて頂きました。



4 「GIS に特化した災害協定」
関東中部 G 空間情報技術研究会 宮下副会長

新潟県と県内の GIS 関連 3 団体が締結した「災害時の応援業務に関する協定」について、その背景や、目的、締結の意味について、当研究会副会長よりご紹介頂きました。災害が多い新潟県ならではの先進事例です。新潟県は GIS や G 空間情報の活用について、以前より先進県として有名ですが、施策を各県にも波及させることで、関東一円の地域貢献に役立てていくことができます。



5 「PC-Mapping 最新機能から見た G 空間世界~その後」
株式会社マプコン 企画営業部課長 中沢倫子氏

今株式会社マプコン企画営業部の中沢課長様には、PC-Mapping の最新機能から見た G 空間世界について昨年引き続き、ご講演を賜りました。

ドローンの飛行計画作成機能や拡張 PVP、ポイントクラウド処理、SWE (Smart Web Extension)、タブレット端末による現地調査システムの出簡調など、PC-Mapping はあらゆる G 空間シーンに対応しています。



6 「測量 CAD システムによる“UAV・TLS を用いた
公共測量マニュアル（案）“に準拠した観測計画
・成果作成」
福井コンピュータ(株) マーキュリー事業部 島田博氏

上記タイトルの開発背景、業界の動向、業務事例、開発
目標、その評価などについてご講演頂きました。
3次元計測支援、i-Con・CIM 支援に関しては、福井
コンピュータの開発力、商品構成は測量設計業界、建設
業界に大きく貢献しています。



最後に、NPO 全国 GIS 技術研究会 宮島専務理事に総評を頂き、当研究会の宮下副会長よりの
講師の方々への謝辞をもって、セミナーが終了しました。有難うございました。

引き続き、懇親会を開催し、大いに語り合いました。
最後の締め挨拶は、
NPO 法人全国 G 空間情報技術研究会 宮島専務です。



関東中部 G 空間情報技術研究会は、平成 30 年度も積極果敢に活動して参ります。
みなさまご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。